

プレテック株式会社

「いいものをつくりたいんや！」

いいものづくりを通じて 社会のお役に立つこと
お客様に愛されること 自ら成長すること それが私たちの幸せ



会社概要

- 代表者 ● 代表取締役社長 多田 修
- 本社所在地 ● 神戸市東灘区
- 事業内容 ● 自動車プレス部品製造並びに金型製作
- 従業員数 ● 65名 うち障害者数5名
(知的障害者4名、身体障害者1名)
- ホームページ ● <http://www.pretec.co.jp/>

障害者雇用について人事担当者にインタビュー

障害者雇用推進のきっかけ・経緯は？

雇用する直接の経緯としては、ハローワークから紹介があったことです。また、私の親族に自閉症の方がいて、以前から「何か彼らのためにできることはないだろうか」と考えていたことも、雇用を推進する大きなきっかけになりました。

採用はどのように？

三木工場の近隣にある障害者施設の三木精愛園さんからのご紹介になります。実は障害者雇用を始める前から、三木精愛園さんとは業務上の付き合いがありました。そこで、障害者雇用を始めるにあたり工場の一部を就労訓練の場として提供しました。

通常5名ほどの方が、指導員の指導を受け、就職に向けて一年ほど訓練をします。問題がなければ、そのまま弊社で採用するという道筋ができていたため、障害者の方にとっても違和感なく仕事に就いてもらえています。



インタビューを受ける人事担当者

採用された方はどのような職種に就かれていますか？

弊社の得意とするプレス加工のうち、単発プレス作業に1名、バネ掛けなどの2次加工に2名、外観品質検査や管理部門にそれぞれ1名ずついます。安全に作業できることが重要ですので、就労訓練やトライアル雇用の期間を通して、ジョブコーチの方と相談しながら慎重に決めています。

障害者雇用で感じたこと、今後の課題は？

実際に同じ職場で働いてみて、それまで持っていた偏見がなくなりました。確かに、できないことや苦手なことはいくつかありますが、彼ら一人ひとりに個性や才能があることも事実です。得意分野や適性に応じて輝ける場所を提供できれば、健常者と一緒に働けると思います。

課題としては、担当してもらっている仕事に慣れ、新しい仕事をしてもらう時に注意が必要だと感じます。弊社には何十何百種類の部品や加工方法があり、注文状況に応じて前日とは違う仕事をしてもらう必要があります。慣れない作業をして、人によっては混乱してしまう方もいます。そうすると、前日までキチンとできていた仕事にも悪い影響が出てしまいます。

この課題の克服には、ジョブコーチの方に大変お世話になっています。障害者の方が分からない部分はどこで、どう教えたらよいか、気持ちが落ち着かない方にはどう声を掛けたらよいかなど、難しい状況でもたくさんのアドバイスをいただいています。



仕事の様子

雇用管理・サポート体制などで工夫されている事は？

健常者と障害者双方が働きやすいように作業場の設備を整えました。入口をスライド式ドアにしたり、段差を極力なくしたりといったバリアフリー化を推進し、また車椅子の方でも入れるようトイレを改装しました。

その他、作業内容を記載している資料の改訂に力を入れました。作業手順を文章だけでなく写真を使ってわかりやすくし、また難しい漢字にはふりがなを付けて、知的障害者の方にも理解してもらえるように工夫しました。会社全体として取り組んだ結果、様々な資料が「見やすくわかりやすい」ものになったと思います。

最後に、これから障害者雇用に取り組もうとしている企業へのメッセージをお願いします。

まずは、「やってみなはれ」と申し上げます。多くの企業が「手間がかかる」「効率が悪くなる」と考えていると思います。しかし、彼らを受け入れることで会社が変わっていくことを実感できます。作業手順や資料を改訂したり、作業現場をバリアフリー化することで、社員全員にとって働きやすい職場環境になります。結果として作業効率が上がり、また、より安全な職場で仕事ができるようになります。

これからの時代、高齢者の方や女性の方にも多く活躍してもらう必要があると思います。障害者雇用を通じてすべての人に優しい作業、その人の個性や才能に合わせて活躍できる職場を生み出すきっかけとなれば、必ず会社としてプラスになります。

勤務されている方へのインタビュー

いつからこの会社に勤めていますか？

約10年前になります。

どのような仕事に従事されていますか？

製品の品質管理（不良の集計や対策の検討）、お客様との品質に関する商談、打合せを担当しています。自分にできることとできないことを周りに伝えてあるので、様々な場面で協力しあって仕事をしています。



仕事場でインタビューを受ける横山さん(右)

この会社に勤めて良かったと思う事は？

障害者ということでも垣根を作ることなく仕事をさせてもらえることです。評価の面でも平等にしてもらっていると思いますし、今は品質管理部門のチームリーダーとしての仕事もしています。

健常者の中には、どう接したらよいかわからない方もいらっしゃると思います。その気持ちは私も理解できるので、こちらから積極的にコミュニケーションを取ることで、よい関係が築けていると思います。

今後の自分への課題・目標などあれば教えてください。

10年間勤めてきましたので、これからも体調管理に気を付けて仕事を続けていきたいと思っています。